

## 元気で過ごし、“やった感”の残る夏休みに！

校長 須藤 雅則

まもなく1学期が終わります。生徒のみなさんにとって、この学期はどんな学期だったでしょうか。今学期には、避難訓練や引き渡し訓練など防災関係の活動やスマホケータイ安全教室、2年生の被爆体験伝承講話会などの特別授業も実施しました。3年生にとっては、修学旅行でたくさんの思い出が残せたのではないのでしょうか。

そして、大きな学校行事の一つである体育大会は、3年生を中心に生徒一人一人が自分の役割に責任を持って自主的に活動し、それぞれの競技で学級や縦割り集団の絆を深めることができ、大成功の行事となりました。

さて、みなさんはこの夏休み中の計画を立てたことと思います。1学期の復習や2学期からの学習に役立つ予習に取り組む。部活動に励む。地域の行事やボランティア活動に積極的に参加する。家の手伝いや体力づくりに励むなど。一番大事にしようと考えていることや具体的な目標はそれぞれであると思いますが、大切なことは自分が決めたことを最後までやりきることです。ぜひ、「なんとかなるだろう」ではなく「なんとかするんだ」という気持ちで取り組み、「誰かがやってくれた」ではなく「自分でやった」という経験にしてほしいと思います。

もうずいぶん前に、ある方から勧められて手に取った本の中に載っていた、心に残っている言葉を紹介します。それは、奈良県にある、今や世界遺産となった薬師寺の僧侶である大谷徹瑩(オオタニテツジョウ)さんの言葉です。

- またあとで またあした つもりをもって 今の自分。
- 誰かと自分を比較しなくなったら 自分が好きになりました。
- 努力する前から言い訳じゃ さみしすぎるよ。
- 今しかできないことがある 今やらねばならないこともある。
- ここまでと思ったら そこまで。

さて、君はどの言葉を心にとどめ、この夏休みを過ごしますか。

最後に、健康・安全面には十分注意し、夏休みを過ごしてください。特に交通事故や水の事故には、くれぐれも注意しましょう。家を出る時にみなさんの言う、「いってきます」、そして帰宅した時の「ただいま」の言葉を、きっと家族は、待ち望んでいるであろうし、その言葉にほっとしているのです。毎日みなさんの安全を願い、小さな成長に期待をし、みなさんが明るい顔で家に帰ってくることを一番に考えているのです。

ぜひ、病気や事故のない夏休みを過ごし、明るく元気な笑顔で2学期に会いましょう。

